



4月に市役所に43人の新入職員が入庁
 初心者研修の一環として本会議場を見学しました。

3月定例会 3月1日～22日

主な内容

- 本会議のあらまし …………… 2
- 主な議案の内容 …………… 3
- 平成23年度関係議案質疑、討論 … 4
- 代表質問 …………… 5～6
- 総括質疑 …………… 7～11
- 委員会審査 …………… 12～13
- 平成24年度関係議案討論 …………… 13
- 審議した議案と結果 …………… 14
- 議会の動き …………… 15
- 議会報告会開催 …………… 16

3月定例会

議会基本条例を可決

議会改革に向け本格始動

本会議の あらまし

3月定例会は、3月1日から22日まで22日間の会期で開かれました。

1日は、平成23年度関係18議案を審議しました。まず、議案第1号の専決処分について、1名が質疑を行い、採決の結果、



起立採決の結果、原案の通り可決

原案を承認しました。残りの17議案は、委員会付託を省略し、2名が質疑を行いました。その後、1名が反対討論を行い、起立採決の結果、原案をすべて可決しました。

続いて総額400億円の一般会計予算など24年度関係26議案が上程され、市長から市政方針の表明と副市長から提案理由の説明がありました。

5～6日は、志政会・明友会・市民クラブ・日本共産党・市民の声・公明党の各会派代表が、市政方針と新年度予算について代表質問に立ちました。

7～9日は、市政全般について、14名が総括質疑を行いました。

総括質疑終了後、24年度関係議案は各委員会に付託され、12日に教育民生、13日に都市経済、14日に総務、15日に生活環境の各委員会で、所管事項について

議案審査が行われました。

教育民生委員会では、議案第32号の修正案及び残りの原案を承認し、他の委員会では、原案をすべて承認しました。

22日の最終日は、委員会に付託していた議案の審査結果について、各委員長から報告がありました。

2名が反対討論を行い、起立採決の結果、賛成多数で議案第32号の修正案及び残りの原案を可決しました。

続いて、議案第46号を可決しました。

その後、議会改革特別委員会提出の委員会提出議案第1号「議会基本条例の制定」を可決しました。

また、議員提出議案第1号「議会議規則の一部改正」を可決しました。

続いて、議員派遣を可決し、最後に市長からあいさつがあり、今期定例会は閉会しました。

議会中継

本会議は中継ケーブルビジョン(CVC)で放送していますので、ぜひご覧ください。

議会を

見に来ませんか

本市議会では、定例会が3月、6月、9月、12月の年4回開催され、本会議は通常午前10時に開会します。

会議の当日、手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

詳しくは議会事務局へ



本会議を傍聴する市民のみなさん

議会に関する意見・感想募集します。



メールアドレス
gikai@city.marugame.lg.jp

【連絡先】
丸亀市議会事務局
TEL 24-8828
丸亀市大手町2-3-1

主な議案の内容

今定例会に提出された議案のうち、主なものを取り上げています。

議案とは↓議会の議決を得るために、市長または議員が議長に提出する案件

平成23年度関係議案

▼議案第1号 専決処分の承認
(市有財産の無償貸付け)

航路の安定的運航を確保するため、旅客船しわく丸を備讃フェリー(株)に無償貸付けすることについて専決処分したので、議会の承認を求めるもの

▼議案第2号から11号まで 平成23年度一般会計ほか補正予算
一般会計、特別会計、企業会計の補正予算について、議会の議決を得るもの

平成24年度関係議案

▼議案第19号 平成24年度一般会計予算
総額400億円の一般会計予算について、議会の議決を得るもの

▼議案第20号から29号まで 平成24年度特別・企業会計予算
総額239億9200万円の

8特別会計と競艇事業会計など2企業会計予算について、議会の議決を得るもの

▼議案第31号 市民福祉年金条例の一部改正
ひとり親家庭の児童に年額1万8千円を支給している遺児年金を廃止し、現金給付から現物給付による子育て支援に転換を図るもの

▼議案第32号 市民福祉医療費助成条例の一部改正
乳幼児医療の拡充策として、現在入院・通院共に7歳未満となっている助成対象者を、入院について中学校卒業までとするため、改正を行うもの

▼議案第33号 保育所条例の一部改正
平山保育所の移転に伴い、位置を変更するための改正を行うもの

▼議案第34号 介護保険条例の一部改正
介護保険料の3年に一度の見直しに伴い、現行の保険料を見直すなどの改正を行うもの

▼議案第35号 駐車場条例の一部改正
市民サービスの向上を図るため、市営駅前地下駐車場に駐車

して中央図書館や猪熊弦一郎現代美術館を利用する場合、使用料の一部を免除する改正を行うもの

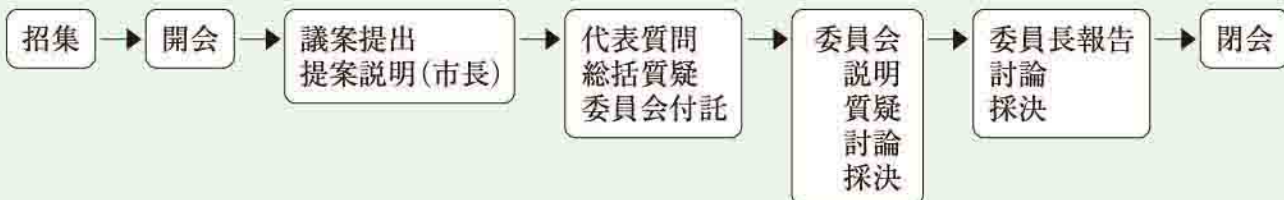
▼議案第41号 図書館条例の一部改正
第二次地方分権一括法の施行による図書館法の一部改正に伴い、条例委任される図書館協議会委員の任命基準を定めるとともに、休館日に関する規定を改めるため改正を行うもの

▼議案第42号から45号まで 定住自立圏形成協定の締結
国の定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市と善通寺市、琴平町、多度津町、まんのう町との間で、定住自立圏の形成に関する協定を締結することについて、議会の議決を求めるもの



市政方針を表明する市長

3月定例会の流れ



代表質問：所属する会派を代表して、市政全般に関する事務の執行状況や将来の方針などについて質問すること
総括質疑：議案を含む市政全般に関する事務の執行状況や将来の方針などについて質問すること

平成23年度関係議案に対する

質疑

質問者・項目

太字の項目は要約文を掲載

倉本 清一

- ①専決処分（市有財産の無償貸し付け）②一般会計補正予算（私立保育園運営補助金、生活バス路線運行維持補助金、防災救急デジタル無線整備事業）③競争事業会計補正予算
- ④市税条例の一部改正

中谷真裕美

- ①一般会計補正予算（民間住宅耐震対策支援事業費、総合運動公園整備事業費）②市税条例の一部改正

市民税の引き上げ なぜ均等割部分か

◎倉本議員 市税条例が改正

され、個人市民税が5000円の引き上げとなる。これは、国の施策として、地方公共団体が実施する防災事業の財源を確保するためのものだが、なぜ、低所得者に与える影響が大きい均等

割部分で増税するのか。

▲企画財政部長 事業実施に当たり、国は復興基本法の理念に基づき広く浅い負担を国民に求める趣旨から、市民税の均等割引き上げに至ったと考えている。非課税限度額以下の人は課税対象とならないことから、低所得者対応もできている。

◎倉本議員（仮称）城北保育所施設整備費が大幅に減額補正されているが、当初の予算見積りに問題はなかったのか。

▲健康福祉部長 建設地が埋立地で病院跡地だということから、補強や地中障害物撤去の必要性を想定していたが、ほとんど必要がなかったこと、また周辺の歩道整備等についても地元との協議で必要最低限の対応で

済んだことなどから、予算が大幅に不要となった。

民間住宅耐震補助 利用促進どうする

◎中谷議員 民間住宅の耐震

補助制度を利用した耐震化が進まない中、制度に改善を加え、耐震改修と同時にを行うリフォームへも補助するなど独自の上乘セミナーで利用を促進している自治体もある。23年度の利用状況を踏まえ、利用促進の改善策を考えているのか。

▲都市整備部長 これまでの広報紙やホームページによる制度の広報活動に加え、ケーブルテレビや戸別訪問による周知や防災意識の高揚を図る啓発活動などを実施していく。また、県や関係機関とも連携して、利用者が少ない原因などを分析し、改善に努めたい。

◎中谷議員 総事業費29億も

要する野球場建設は、国の交付金が減額された時点で、予定通り事業を進めるべきか考え直すタイミングではなかったのか。

▲都市整備部長 内示額の減額を受け、事業計画を再検討し、



総合運動公園野球場（完成予想図）

整備スケジュールの見直しなどを行ったが、計画全体の見直しには至らなかった。

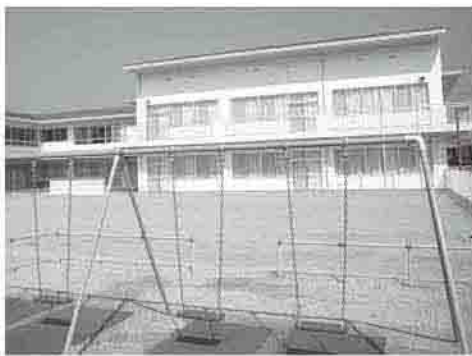
討論

平成23年度関係議案に対する

〈反対討論〉 尾崎淳一郎

議案第14号 市税条例の一部改正に反対

理由 ①条例改正による増税分は、被災地の復興財源に充てられるものではない。あくまでも、自治体が行う緊急防災事業の財源にするもので、今回の増税は国から自治体への防災事業への補助を削減する姿勢が見て取れる。②税の基本は応能負担であり、この原則を無視し、均等割で低所得者からも税金をとることは理解できない。



完成した保育所